

ココにも歴史があった～江東区収蔵資料～

ふかがわとしょかん つか

深川図書館で使われていたタイル

建物の壁や床を覆う薄い板状の焼き物の名称が「タイル」に統一されてから、昨年4月で100年となりました。

大正12年（1923）9月1日の関東大震災によって被災した深川図書館は、昭和3年（1928）6月に深川公園（富岡1-14）から現在地（清澄3-3）に建て替えられました。なお、展示品のタイルは、建物

1階の壁材として張られていたもので、平成4年（1992）の解体工事の際に採取されました。このタイ

ルの裏面にある記号（SとHを重ね合わせたもの）から、本品は愛知県名古屋市にあった佐治タイル

会社製のものと分かります。



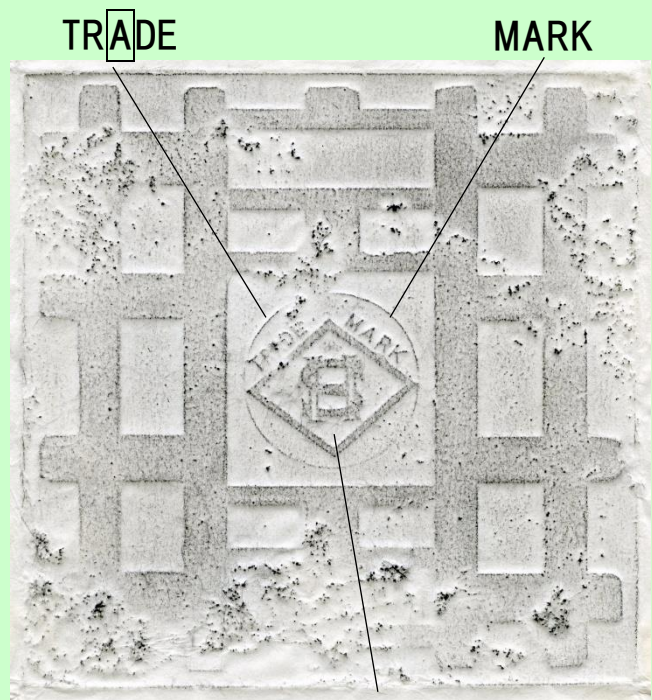
展示状況



表面



裏面



SとHを重ね合わせたもの

裏面(拓本)

タイル

製造時期：大正6年（1917）以降

製造元：佐治タイル会社（愛知県名古屋市）

規格：縦 15 cm × 横 15 cm × 厚さ 1 cm

「深川図書館」建物概要

設計：東京市土木課臨時建設局

施工：西村組

構造：鉄筋コンクリート造3階建（地下1階）

工期等：昭和2年（1927）4月15日 着工

昭和3年（1928）6月19日 竣工

9月16日 開館

平成4年（1992）1月～ 解体



深川図書館（南東から）

昭和30年（1955）頃
（江東区教育委員会所蔵）

【参考文献】 『深川図書館解体記録調査報告書』

江東区教育委員会生涯学習部深川図書館 平成6年

『日本のタイル100年 美と用のあゆみ』

INAX ライブミュージアム 令和4年